

動物介在活動・療法 協力のお願い

北里大学メディカルセンターでは、平成26年1月1日～3月31日まで、動物介在活動のトライアルを行っています。期間中は感染症・アレルギー対策にも細心の注意を払い実施しますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

○動物介在活動とは
動物とふれあうレクリエーションを中心とした活動で、リラックスやQOL（生活の質）の向上を目的としたものです。
○動物介在療法とは
医療従事者が治療目的として動物とのふれあいを介入させるもので、治療計画や記録を伴うものです。



★「ハイク」

ハイクは日本盲導犬協会所属のPR犬です。人がだ〜い好きで、病院などの公衆の場に入るための訓練を受け、吠えたり噛んだりすることはありません。また、感染症対策としてワクチン接種や日々のお手入れにも注意し、被毛を落とさないようにマナーコートを着用しています🐾

★ハンドラー「饗庭尚子（あいばなおこ）」

ハイクの健康・衛生・行動管理を行い、ハイクとコミュニケーションをとりながら活動を行います。活動についての不安や要望がありましたら、お気軽にお声がけください。



Q. 犬が怖い・苦手なのはどうしよう。

A. 行動管理され、飛びついたり、吠えたりすることはありません。また、患者様の許可なく近づくことはありません。

Q. 犬に対するアレルギーや感染症が心配。

A. 予防注射や定期的な健康診断、また日々の衛生管理により、感染症や衛生について厳格に管理しています。またマナーコートによる抜け毛対策および活動後の清掃を実施しています。

Q. 犬が排泄したらどうするの？

A. 病院外で定期的に排泄を済ませ、病院内で排泄をすることはありませんが、犬の急な体調不良等により万一排泄があった場合、職員が適切な処理を行います。



【お願い】

犬は定期的に検査を受け、病気が無い事を確認し活動を行っていますが、人の手を介して人の感染症を媒介させることを防ぐため、犬に触る前、触った後に手の消毒をお願いします。

アニマルセラピー導入検討委員会